

An aerial photograph of a city, likely Maibara, Japan. The image shows a dense urban area with a river winding through it. The text '甲府城周辺地域活性化実施計画' is overlaid on the image.

甲府城周辺地域活性化実施計画

平成29年12月

山梨県
甲府市

目次

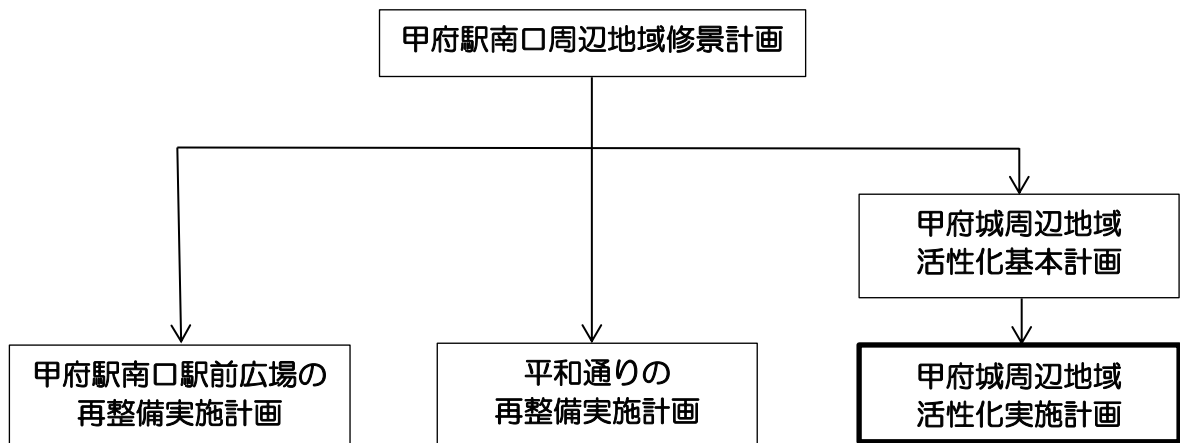
1. 実施計画の位置付け	1
2. 整備の考え方（空間イメージ）	2
3. 具体的な整備の考え方	3
(1) 各ゾーンの整備の考え方	3
(2) エリア全体の考え方	5
4. 事業主体及びスケジュール	6
(参考資料)	7

1. 実施計画の位置付け

甲府城周辺地域は、「甲府駅南口周辺地域修景計画」において「歴史と文化へのアプローチゾーン」に位置づけられており、甲府城を活かし歴史・文化が感じられる空間づくりにより甲府市中心街の活性化につなげることを目指している。

このため、平成27年8月から学識経験者等による検討委員会を設置し検討を進め、パブリックコメントを経て平成28年6月に「甲府城周辺地域活性化基本計画」を策定し、この基本計画の中で、甲府市中心街における集客の核となる可能性がある甲府城南側エリアの整備が重要であるとし、そのコンセプトと考え方を示した。

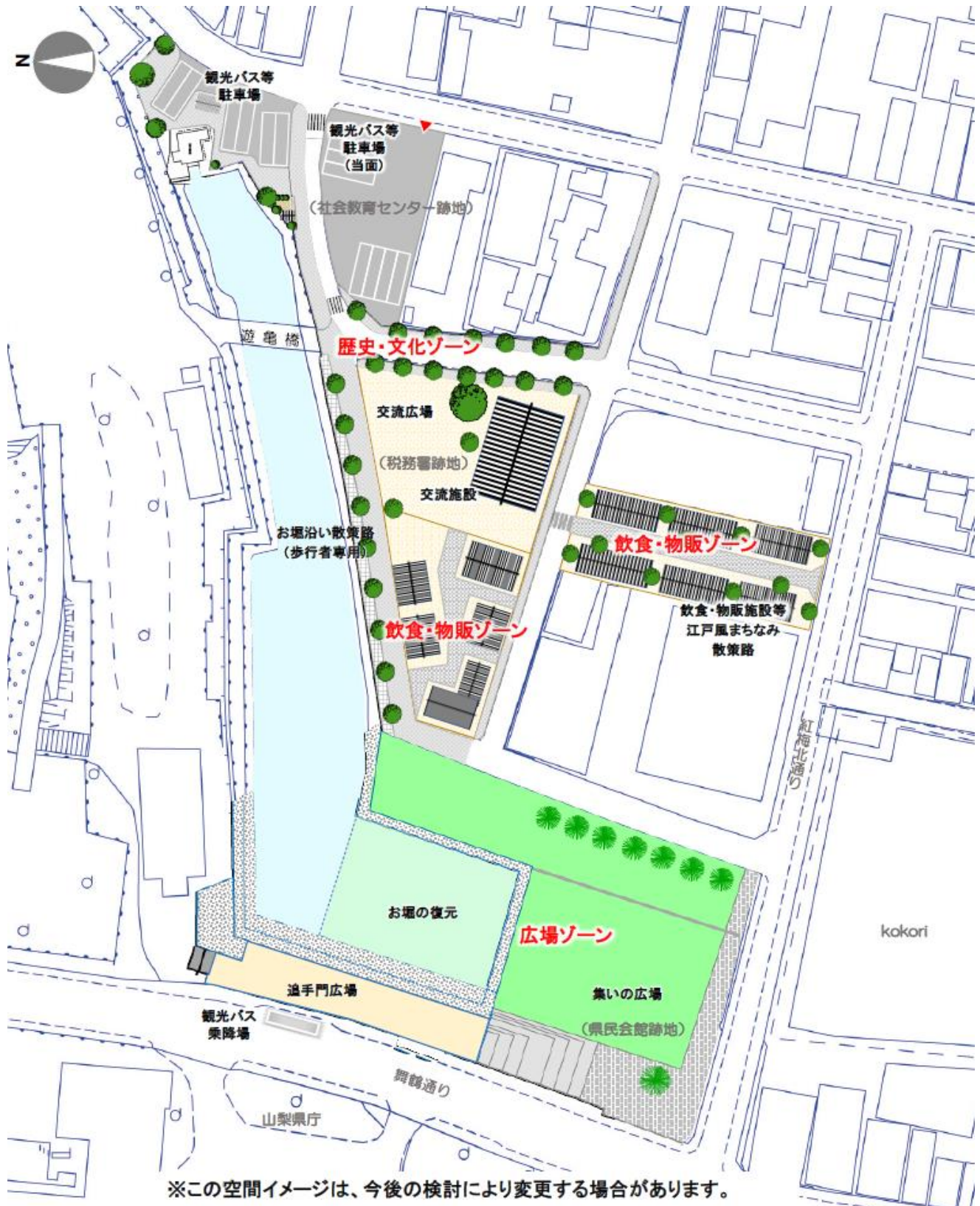
本実施計画は、そのコンセプトや考え方に基づいた、具体的な整備内容や事業主体等の基本的事項を示すものである。



2. 整備の考え方（空間イメージ）

整備の基本的な考え方

甲府城の歴史・文化と緑が感じられ、ゆっくり過ごせ、また来たいと思える空間づくり



3. 具体的な整備の考え方

(1) 各ゾーンの整備の考え方

<広場ゾーン>

■県庁敷地と一体となった開放的な広場の整備

① 整備内容

集いの広場は、舞鶴城公園の区域を拡張し、都市公園として整備することで、スクランブル交差点から遊亀橋への回遊性を確保する。

北側エリアはお城の石垣やお堀を活用するなど、歴史的な雰囲気を出し出す整備を主体とし、南側エリアは、スクランブル交差点に面した都会的な賑わい空間、日常的なイベント開催にも対応できる空間として整備する。

② 施設整備

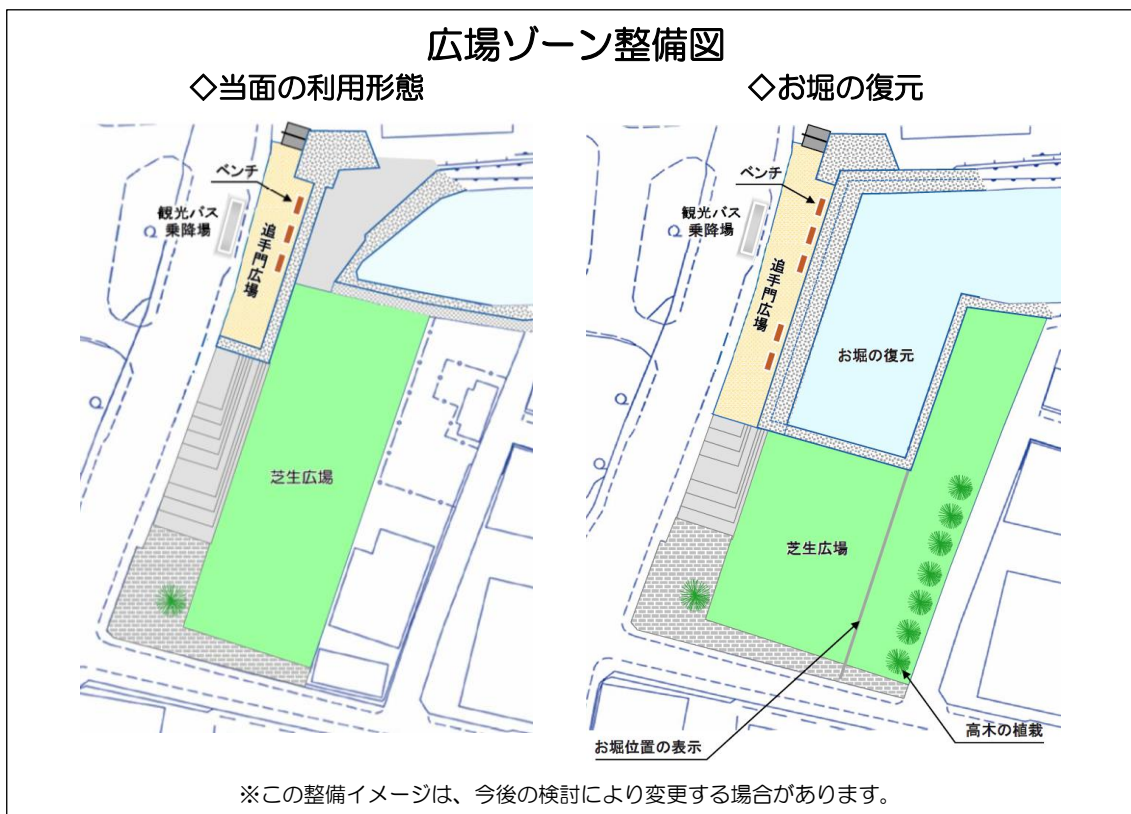
県民会館跡地を先行した段階的な整備とする。

◇当面の利用形態

公有地の区域を先行整備することとし、北側エリアについては、遊亀橋方面への回遊道線を確保しつつ、当面はお堀復元への影響が小さい芝生広場等として整備する。

◇お堀の復元

最終形態のお堀の復元については、民有地部分の整備に合わせて史実に基づき復元することとし、復元範囲については、集いの広場としての機能に十分配慮する。



<歴史・文化ゾーン>

■歴史・文化関連施設の整備（交流施設・交流広場）

① 整備内容

甲府の歴史・文化を再発掘し、甲府城を中心として城下に栄えた小江戸甲府の賑わいが感じられ、まちなみや交流等により歴史・文化を今に伝える施設整備を行い、来訪者に江戸時代を基調とした歴史・文化の雰囲気に触れながら、ゆっくり時間を過せる場の提供をする。

② 施設整備

◇交流施設

芸術及び歴史・文化活動の場として、市民活動などに広く開放され、様々な交流ができる施設とするとともに、演劇などの利用も検討する。

◇交流広場

市民の歴史・文化活動発表などの場として活用できるとともに、市民や観光客などが利用できる場所として整備する。

■観光バス等駐車場の整備（当面）

バスで訪れる団体観光客等が気軽に立ち寄れるように、遊亀橋付近に観光バス等の駐車場の整備を行う。

<飲食・物販ゾーン>

■飲食・物販施設等の整備

① 整備内容

民間施設を導入できるよう基盤整備を行い、江戸風まちなみを再現する中で、新たな交流や歴史・文化の創造を目指す。

② 施設整備

- ・甲府市の郷土食、特産品（宝石、革製品等）などの提供や歴史・文化的な背景の紹介
- ・甲府市内にあるワイナリーや専門店等のアンテナショップ
- ・特産品等の製造工程や道具などを紹介するプチミュージアム

■散策路の整備

① 新たな散策路の整備内容

税務署跡地南側において、甲府城と基本計画で示されている中心商業エリアを直結する散策路の整備により、回遊機能を創出し、中心街の魅力向上を目指す。

② 既設道路の活用方法の検討

税務署跡地北側のお堀沿いの道路（遊亀橋から西側部分）は、散策路の整備を検討する。

(2) エリア全体の考え方

■甲府城と調和した緑豊かな空間及び江戸風まちなみの整備

広場やお堀沿いの散策路、新たに整備する建築物の敷地において、季節感を演出する花木を植栽する。また、新たに整備する建築物等については、お城の石垣とお堀が織りなす景観との調和を図るため、江戸風の建築意匠とし、甲府城の城下町が栄えていた頃の情緒あふれるまちなみの形成を図り、歴史物語都市こうふを目指す。

■甲府城周辺の歴史・文化資源の活用

甲府や甲府城の歴史・文化を分かりやすく伝えるとともに、回遊ネットワークの充実を図るため、お堀や石切場などの周辺の歴史資源の活用や、更なる歴史・文化の紹介、展示施設の整備について、検討・調整を行う。

■自家用車駐車場の利便性の向上

周辺を含めた中心街等へ自家用車による来訪者のため、駐車場の利便性向上策を検討する。

4. 事業主体及びスケジュール

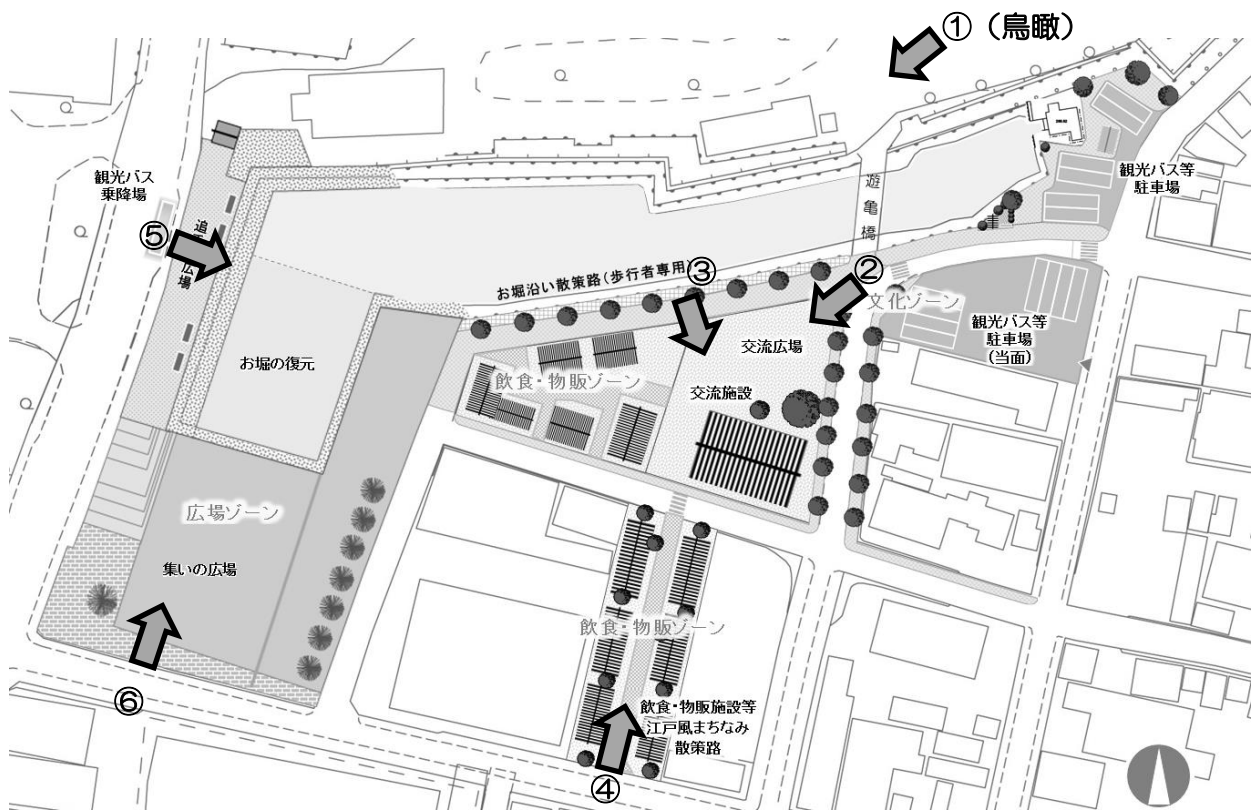
県と市が公共施設跡地を中心に先行整備し、一定の機能・施設を確保する。民有地については、調整が整ったところから段階的に着手し、計画エリア一体となった整備を進める。

(年度)

ゾーン名	場所	主体	整備する施設	2017 H29	2018 H30	2019 H31	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)
広場 ゾーン	県民会館跡地	山梨県	公園整備 (お堀の復元含む 集いの広場整備)	調査・設計・工事										
	民有地を含む全体 (県民会館跡地東側)	山梨県		調査・設計・工事										
歴史・文化 ゾーン	税務署跡地	甲府市	交流施設 交流広場			建物解体	設計・工事							
	社会教育センター跡地	甲府市	観光バス等駐車場 (当面)		設計・工事									
飲食・物販 ゾーン	民有地 (税務署跡地南側)	甲府市	散策路 飲食・物販施設等		調査・設計・工事									
	民有地 (税務署跡地西側)	甲府市又は民間	散策路 飲食・物販施設等							調査・設計・工事				
	お堀沿い 既設歩車道の整備	山梨県 甲府市	散策路 活用検討		散策路整備・活用検討									
備考						開府 500年	善女公生誕 500年							リニア 開業

参考資料

(整備イメージ)



※矢印はパースの见ている方向を示しています。

①



※このパースはイメージです。
建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

②



※このパースはイメージです。建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

③



※このパースはイメージです。建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

④



※このパースはイメージです。建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

⑤



※このパースはイメージです。
建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

⑥



※このパースはイメージです。
建築物の配置や意匠などは今後詳細な検討を行う中で決定されます。

甲府城周辺地域活性化実施計画

山梨県県土整備部都市計画課

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

電話 055-237-1111 (代表) 055-223-1717 (直通)

FAX 055-223-1724

甲府市建設部まち開発室都市計画課

〒400-8585 山梨県甲府市丸の内一丁目18番1号

電話 055-237-1161 (代表) 055-237-5819 (直通)

FAX 055-232-4834
